

*Y女史が残していった記念品

Y女史は再雇用職員で国立天文台に残っていたが2012年3月末でいよいよ国立天文台を去って行かれた。アーカイブ室新聞576号に書いた「富田弘一郎氏の「星のしをり」(The Garden PERSEI)を収蔵」の記事の富田弘一郎氏の「星のしをり」もY女史から譲られたものである。今回は6点の記念品の類を譲って頂いた(写真1)。これらは今までに何度かにわたって紹介したものであるが、今回は一度に6点を収蔵した。⑥の革ひもも以外は国立天文台にとっての記念品である。それぞれに懐かしいものである。



写真1 Y女史から譲られた5個の記念品

今回収蔵した記念品は下記のとおりである。

- ① : 1983年6月11日のインドネシア日食時の日本日食観測隊の記念品
- ② : 緯度観測所100年記念品
- ③ : ハワイに建設した「すばる」の記念キーホルダー
- ④ : 水沢の緯度観測所の旧本館であった宇宙遊学館記念品
- ⑤ : コーニングのULEを使った「すばる」主鏡の記念品
- ⑥ : 綴じひもの革ひも6本

それぞれを写真で紹介する。



写真2 1983年6月11日のインドネシア日食時の日本日食観測隊の記念品



写真3 緯度観測所100年記念品



写真4 ハワイに建設した「すばる」の記念キーホルダー

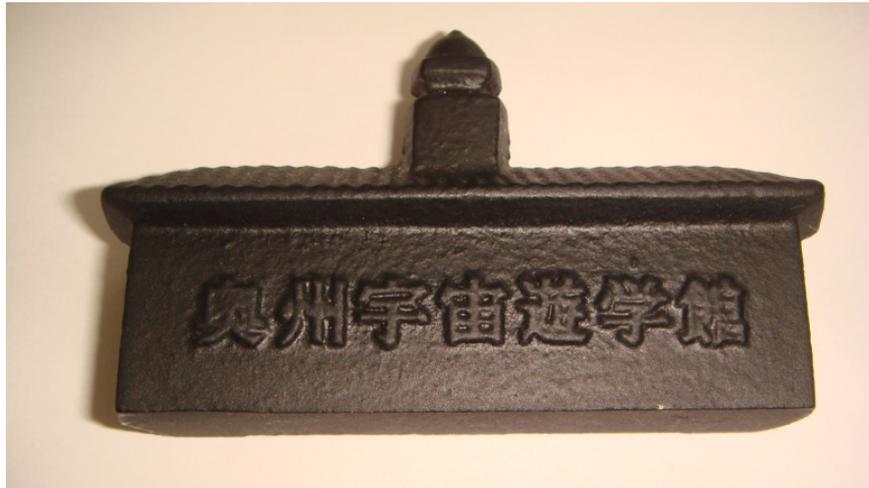


写真5 水沢の緯度観測所の旧本館であった宇宙遊学館記念品

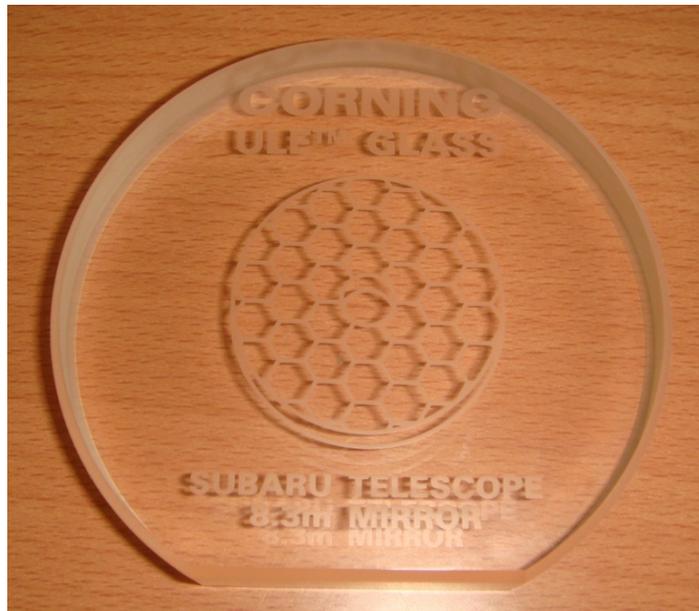


写真6 コーニングのULEを使った「すばる」主鏡の記念品



写真7 綴じひもの革ひも6本

これらは、建設を計画している国立天文台博物館の収蔵品にしようと思っている。

これらアーカイブ室新聞の記事にお気づきのことがあれば、編集者中桐にご連絡いただければ幸いです。中桐のメールアドレスは、arcnaoj@pub.mtk.nao.ac.jp